

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

February / 11 / 2022 # 107

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『リサイタル、無事終演』

[2] Pepeのひとりごと

『光陰矢の如し』

[3] おすすめ動画

『Fantasia by Gordon Jacob ファンタジア / G.ジェイコブ』

『楽器の預け方(ANAの場合)』

[4] 演奏のヒント！

『マウスピースと口の密着具合 Part 1』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『リサイタル、無事終演』

先月1月15日に、出身地である愛媛県（厳密には、同じ県でも出身の街ではないのですが）で、ソロのリサイタルをやらせていただきました。

リサイタル自体、ものすごく久しぶりだったのですが、とってもいい感じで終えることができ、自分自身でもホッとしています。

年齢を重ねていくと、（準備をしているときに）どうしても「衰え」や

「減衰」などという言葉（感覚？）が頭の中にちらついてくるのですが、今回はそれらを感じることもなく、さらなる成長を感じることもでき、とってもよかったです（ある意味、安心もしました）。

これまでリサイタルの中でも、一番良かったのではないかなあ、とも思っています。：)

スケジュールがとてもハードだったのですが、その中でも上手にいろいろなコントロールをして無事に乗り越えることができたのは、自分にとっていい収穫となりました。

こういう感じで、これからももっと積極的にソロ演奏の活動もやっていきたいと思っています！
そのためには、やっぱり毎日の積み重ねですね。

今これも、練習の合間の休憩のときに書いているのですが、これからもコツコツと努力を重ねていこうと思っています。

[2] Pepeのひとりごと

『光陰矢の如し』

「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、あっという間にもう2月に入って10日以上経っていますねえ。
歳を重ねるごとに1年、1ヶ月、1週間が短く感じるとは思ってもいたし、実際に肌でそれを感じ取ってもしましたが、ここ数ヶ月、本当に「あっという間」に感じています。

この歳（今年で45歳になります）になると、日々の過ぎていくのが速くなっているように感じると同時に、自分の残り時間について考えるようになりました。

何歳まで生きるのかは全くわかりませんが、あと何年楽器が吹けるのか、あと何年健康でいられるのか（できれば最後の瞬間まで元気でいたい！）、あと何年自分の思い通りに動けて、今と同じような行動範囲で生活していけるのか、などと考えています。

いつの日か将来、今のように思い通りに自由に動くことができなくなってしまうことを怖がるのではなく、いつそのようになっても後悔しないように、「今」を精一杯、幸せを感じながら過ごしていきたいと常々思っています。

さあ、今日もしっかり「今」しかできないことをがんばろう！

[3] おすすめ動画

『Fantasia by Gordon Jacob ファンタジア / G.ジェイコブ』

<https://www.youtube.com/watch?v=apJxBIUc8Co>

先月はTromboneの動画2つだったので、今月はEuphonium関連のものを2つ（どちらも安東くんのチャンネルのものですが・・・）。

まず1つ目は、G.Jacob作曲の「Fantasia」の動画です。

この曲、Euphoniumのオリジナル作品として昔から有名ですが、最近の若い人たちは演奏しているのかなあ、と最近自分の中で疑問になっていたの、ここで紹介したいと思います。

自分で演奏もしてみたいところなのですが、ちょうど安東くんが動画を出しているようなので、それを紹介しますね。

相変わらずの、とても安定した演奏です。 :)

僕が、Euphoniumのミュートの存在を知ったのも、この曲でのことでした（笑）。

最近の人たちは、吹奏楽の曲の中でミュートの存在を知るのかな??

P.S. いつだったかくわしくは覚えていませんが、数年前にDavid (Childs氏)が、この曲の音の間違いを指摘していたことがありますが、この動画での演奏は、楽譜通りの演奏となっています。

『楽器の預け方(ANAの場合)』

<https://www.youtube.com/watch?v=-vOYRCof8Vs>

2つ目の動画は、同じく安東くんのチャンネルから。

飛行機での移動時の、Euphoniumの預け方についての動画です。僕はJALを利用するので、自分のときにはまた自分でいろいろと調べようと思っていますが、こういう情報は本当に助かりますね。安東くん、ありがとう！

[4] 演奏のヒント！

『マウスピースと口の密着具合 Part 1』

今月は、マウスピースと口の密着具合について書いてみようと思います。

アンブシュアなどについてはみなさんいろいろなタイミングで気にしたり見直したりすることはあると思いますが、マウスピースと口の密着具合についてはどうでしょう？

「マウスピースは口に強く押し付けてはいけません」

ということは楽器を吹き始めて間もない頃から聞いたことがあると思いますし、常に気をつけて、というか、そうしないようにしていると思います。

今月、どうしてこのことについて書こうかと思ったかというと、自分自身で試してみたところ、とてもいい感じのところを見つけたからです。 :)

まず、みなさん、自分の演奏時のマウスピースと口の密着具合を確認してみてください。

ここ数年の僕の経験からすると（自分を含む、レッスンで会ういろいろなパターンによると）、この密着度がゆるい（十分でない）場合がけっこうあります。

その原因として多くあるのが、マウスピースを口にしっかりと付けていないことです（考えてみると当たり前のことだけど。笑）。

そう、ポイントはこの「しっかりと」ということ。

上に書いた「強く押し付けてはいけない」と、この「しっかりと口に付ける」とは、矛盾することのように感じてしまいがちですが、矛盾するものではありません。

僕は、レッスンのときなどに、この「しっかりと口に付ける」ことについて、「隙間が開かないように密着させて」という表現をします。

口は、マウスピースと違って平らではありません。表面が平らなマウスピースと平らではない口（唇）を隙間がないように密着させると、もちろんその圧は場所によって変わってきます。

（個人差はもちろんありますが）隙間が開きそうな付け具合で演奏している人が多いように思います。

一度、自分の演奏時の様子を確認してみてください。

・・・すでに長くなってしまったので、次回に続く、ということにしますね。
続きはまた来月！ ;)

編集後記

また、オミクロン株が猛威をふるっていますね。
僕のオーケストラも、先月から今月にかけて、いくつものコンサートが
キャンセルになってしまいました・・・（涙）。

いろいろな面で悲しくて大変な状況ですが、明るい未来を信じて前に
進んでいくしかないですよ。

コンサートがキャンセルになってしまったのは仕方のないことだし、
今から何かができるわけではないので、僕は、この急に自分に
与えられた時間を誰よりも有効に使おうと思い、今月も必死で
練習を重ねて、YouTube用の動画を少しずつ撮っていています
（忙しくなるとなかなか撮るようにならないので、まとめて
撮れるときにがんばって撮っています）。

みなさんも、所属しているバンドなどの活動がまた縮小されて、
なかなか他の人と一緒に演奏する機会が減っていると思います。

でも、必ずまたみんなと楽しく演奏できる機会はやってきます！！
そのときにしっかりと楽しめるように、今は耐えていきましょうね。

僕も、また今日もコツコツとがんばります！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>